

～総務省からのお知らせ～

第50回衆議院議員総選挙を振り返って

各都道府県・市区町村の選管並びに選挙啓発団体の皆様、衆議院議員総選挙の管理執行や選挙啓発につきまして、大変お疲れ様でした。

今月号では、選挙を振り返った内容をお知らせします。

(1) 投票率

今回の衆議院議員総選挙の投票率は、53.85%で、前回の衆院選よりも下回ったものの、前々回の衆院選よりもわずかですが上回る結果となりました。

また、18,19歳の投票率(※)は、18歳が49.21%、19歳が36.67%、18歳19歳を合わせた投票率は、43.06%となり、前回の衆院選に比べ、19歳の投票率のみ上回る結果となりました。

※全国45,429投票区の中から、188投票区

(47都道府県×4投票区)を抽出

若年層の政治意識の向上を図り、長期的な観点から投票率の向上を図っていくには、主権者教育の息の長い取組みが重要であると考えております。今後も皆様の取組を支援してまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

(2) 総務省の選挙啓発

各種媒体等を活用し、関係機関、地方公共団体や(公財)明るい選挙推進協会等と連携を図りながら、投票参加の呼びかけと選挙期日の周知に加え、区割りの改定や期日前投票制度など選挙人に必要な情報の周知を行いました。

今回の選挙では、「大沢たかお」と「高橋ひかる」さんの2名を起用し、新聞広告、ポスター、リーフレット、インターネット広告、交通広告の活用のほか、2名が出演する投票参加の呼びかけや投票の仕方を周知するWEBムービーの作成、総務省特設ホームページにおける投票方法、候補者・政党情報等の情報提供を行いました。今後とも皆様の取組も参考にしつつ、より効果的な啓発となるよう努めてまいりたいと考えております。

(3) 速報資料の掲載

「令和6年10月27日執行 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査速報資料」は、右記QRコードよりご覧いただけます。



18歳、19歳の投票率の状況 (単位: %)

年齢	18	19	計
R6衆	49.21	36.67	43.06
R3衆	50.35	36.02	43.23

キャンパス・スコープ49号に特集記事を掲載しました

今年度も読売新聞社が大学生と共同で発行するタブロイド判の学生新聞「キャンパス・スコープ」に、選挙啓発の記事を掲載しました。

キャンパス・スコープメンバーの東京都知事選挙の体験記等を載せております。

キャンパス・スコープは、10月中旬頃から大学等で配布されています。



令和5年度選挙管理委員会による主権者教育等に関する調査結果を公表

選挙管理委員会による主権者教育等に関する調査結果(令和5年度実績)を集計し、総務省HPで公表しております。

選挙管理委員会の皆様には調査にご協力いただき、ありがとうございました。

下記QRコードより詳細をご覧ください。



～主権者教育だよりの情報掲載について～

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限り、お応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係
仁木・北村・五十嵐
Tel: 03-5253-5574
Mail: senkyo.kanri@soumu.go.jp